

福祉のまち いの町  
広報 第81号

# 社協だより



ご協力ありがとうございました

## 赤い羽根共同募金





社会福祉法人 いの町社会福祉協議会

会長 楠本 光春

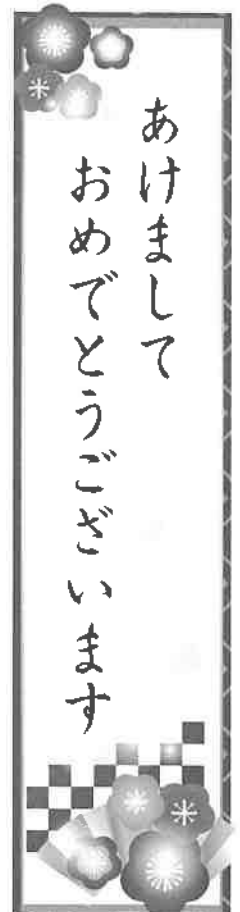
新年おめでとうございます。皆様におかれましては、すこやかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年中は、地域の福祉を推進するため、皆様には、ひとかたならぬお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

おかげさまで、私たち役員一同も微力ではございますが、町内の様々な福祉団体や住民組織の皆様とともに「支え合う心、思いやる心」を目標に力を合わせて活動させていただくことで、多くの生活課題の解決などに尽力することができたのではないかと考えています。

さて、現在、全国的に少子高齢化が進み、社会構造や家庭環境が大きく変化し、住民同士で支え合う体制づくりがより一層求められています。この町社会福祉協議会では、新たにボランティアポイント制度（にこボラぼん）の普及・啓発に取り組み、新たな担い手の確保を図るとともに、各種福祉事業の更なる充実と発展に尽力し、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、各関係機関と連携をとりながら、地域福祉の向上に努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の今年一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



会長	楠本 光春	評議員	井上 洋子	評議員	川村 輝男
副会長	高橋 恵助	〃	青木 進	〃	岡林 弘
〃	川村 隆通	〃	須賀不二男	〃	古田 好輝
理事	深見 三男	〃	中平 麗子	〃	神野 康彦
〃	三本 司	〃	高瀬 科子	〃	川村 晶子
〃	池 誠機	〃	若林 正直	〃	事務局 下川 毅士
〃	武政 豊	〃	元吉 美知	〃	山本 亜希
〃	中岡 征勝	〃	岡田 正博	〃	藤田 良恵
〃	金子 剛	〃	中澤 一也	〃	増井 邦基
〃	高橋 正代	〃	安藤猪津子	〃	職員一同
〃	川村起久子	〃	吉良 征世	〃	
〃	和田 光隆	〃	中山 和	〃	
監事	金子 覺	〃	杉本 寛子	〃	
〃	板垣 要次	〃	隅田 清明	〃	
〃		〃	筒井 和代	〃	
〃		〃	川村 啓	〃	
〃		〃	川崎 和三	〃	

(順不同・敬称略)





## 第75回 高知県社会福祉大会

### 大会テーマ

被災地支援の経験を今後の地域づくりにどう活かす！  
～発災時の福祉支援体制の整備に向けて～

11月8日（金）高知県立ふくし交流プラザ（高知市）にて標記大会が開催され、多くの福祉関係者が出席しました。

前半の表彰式典では、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々に対し、表彰ならびに感謝状が贈呈され、いの町では下記の方々が授与されました。

後半のパネルディスカッションでは、令和6年能登半島地震の被災地で支援活動に携わった医療関係者や社協職員による実践発表や意見交換が行われました。

8月に南海トラフ地震臨時情報の「巨大地震注意」が初めて発表され、防災への関心が高まっている今こそ、日ごろから地域住民同士がつながり、支え合える仕組みを作り、災害に強い地域づくりに繋げていくことが重要であると感じました。

### 受賞された皆さま おめでとうございます。

高知県社会福祉大会会長表彰（民生委員・児童委員）

松本 健市

高知県社会福祉大会会長感謝（民生委員・児童委員）

刈谷 信子

（県・市町村社会福祉協議会）

高瀬 科子

高知県共同募金会会長感謝（法人・団体・職場）

いの医師団

村上工業株式会社

（順不同・敬称略）



刈谷信子さん

松本健市さん

## 第20回 いの町社会福祉大会 開催のご案内

多年にわたり社会福祉の発展に貢献された個人・団体を表彰し、いの町における社会福祉の更なる充実をめざす機会として、いの町社会福祉大会を開催いたします。

※新型コロナウイルス感染症等の状況により、大会を縮小または延期等する場合がございます。

開催日：令和7年2月28日（金）

場 所：いの町立本川プラチナ交流センター

時 間：午後1時30分から午後4時（受付：午後1時から）

式典・表彰状感謝状贈呈・基調講演・活動発表

### 【お問い合わせ先】

いの町社会福祉協議会

本 所 ☎088(892)0515

吾北支所 ☎088(867)2820

本川支所 ☎088(869)2071



### 基調講演

◇地域との交流から人づくり

いの町立長沢小学校校長 武市綾香 氏

### 活動発表

◇災害ボランティアセンターの役割

～能登半島地震支援活動から学ぶこと～  
社会福祉法人 いの町社会福祉協議会

## いの町民生委員児童委員協議会連合会 3地区合同交流研修会



9月18日(水)いの町の3地区の民生委員児童委員協議会が合同交流研修会を開催しました。

いの町波川の高知県立農業大学校で研修を行い、教職員の方々から校内のビニールハウスや果樹園など施設の案内、授業カリキュラムの説明や卒業後の進路などについてお話がありました。

委員からは、「いの町に大学があることは知っていたけれど、これまで校内を見る機会はなかったので見学出来てよかった」「農業の担い手育成のこと、充実した環境と実習の様子を知ることが出来た」などの感想が聞かれました。

研修会終了後は、昼食をとりながら親睦・交流を深めました。



## 主任児童委員児童部会視察研修

11月7日(木)香南市役所教育支援センター「森田村塾」へ、委員14名が視察研修に行ってきました。「森田村塾」は小中学校の不登校の児童・生徒を対象に、自主的な学習と社会活動などの支援を行っています。岡西塾長から、不登校児への取り組みや子ども達に寄り添った居場所づくりなどのお話を伺いました。

質疑の時間には、委員からたくさんの質問が出され、「本人の自己決定を大事にしていることがわかった」「不登校から再び登校へと繋がっていると聞き、一歩前への支援が出来ていると感じた」という感想がありました。

午後からは、すこやかセンター伊野で、いの町教育委員会事務局乾副参事から「不登校支援の現状」とほけん福祉課岡田保健師から「SOSの出し方教育の取り組みについて」の講義を受けました。委員からは、「児童・生徒に合わせた授業を通じて不登校への対応や、相談を身近に感じてもらう工夫をされているのがわかった」「できれば今後毎年、保護者も含めて授業を行ってほしい」という感想や要望がありました。民生委員児童委員、主任児童委員として学校との関わりをあらためて考える研修になりました。



香南市役所教育支援センター「森田村塾」にて



いの町教育委員会事務局乾副参事の講義

# 『ひとり暮らし高齢者の集い』を開催しました



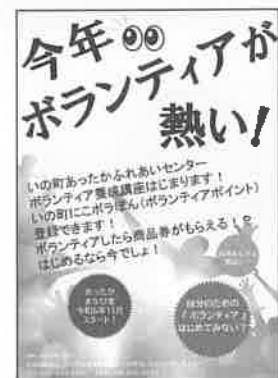
11月22日(金)「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催し52名の方が西島園芸団地を訪れました。植物を鑑賞しながら、「みんなで見るとよりきれいに見えるね」などとお話しされたり、買物も楽しんで、有意義な1日を過ごしました。

## いの町あったかふれあいセンター

# 令和6年度 あったかまなび家



あったかまなび家とは、地域活動やボランティア活動のきっかけづくりとして、地域や福祉のことを学ぶ「ボランティア養成講座」として、毎年開催しています。



あったかまなび家の講座第1回は、11月9日(土)に「ボランティア入門講座」を、第2回は11月30日(土)に「認知症の理解と関わり」を開催しました。幅広い年齢層の方が参加し、「はじめてボランティアの話を聞き、とても参考になりました」「自分にできることでボランティアをしたいと思いました」などの感想があり、ボランティアに興味を持ってもらうきっかけとなりました。

第3回目の講座は、令和7年1月19日(日)「手話講座」、第4回は2月9日(日)「ボランティアフェスティバル」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

あったかまなび家の各講座では、いの町にこボラぼん(ボランティアポイント)の登録も受け付けておりますので興味のある方は下記までお問い合わせください。

**【お問い合わせ申込先】 いの町あったかふれあいセンター ☎ 088 (893) 5920**

吾北版  
すごろく

吾北あったかふれあいセンターこころ

# 「すごほく」のご紹介



皆さんが、健康をテーマに楽しく交流し、素敵な笑顔になれるように、いの町役場吾北総合支所住民福祉課と吾北あったかふれあいセンターこころが共同で、健康すごろくゲーム「すごほく」を作成しました。

この「すごほく」は、体や口を動かしたり、頭を使ったり、吾北の思い出話に花が咲いたり、身も心もぽっかぽかになります。ミニデイや地域の集まりなどで楽しみませんか？

貸出をしますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

### ■お問い合わせ申込先

吾北あったかふれあいセンターこころ  
☎ 088(867)2755



例えばこんな  
マスがあります

今はないけど昔、吾北に  
あったものを教えてください



ゆっくりバザイ  
(全員10秒かけて)



吾北クイズ  
もあるよ。



中村 紀子

令和6年11月より事務職員として本所総務課で勤務しています。地域の皆さまのお役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



田村 美香

令和6年10月より、本所で日常生活自立支援事業の専門員として勤務しています。不慣れな点もあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



藤岡 愛佳

令和6年6月より、いの町あったかふれあいセンターで勤務しています。地域の皆さまと一緒に、より良い関係を築いていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

## 職員紹介

新たに3人の職員が仲間に加わりました

### 社協会費の「協力をお願いします」

日頃より、町民の皆様にはいの町社会福祉協議会の事業運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。いの町社会福祉協議会では、住み慣れた地域で誰もが安心して生活がおくれるように、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

社協会費は、地域福祉活動を展開するうえで貴重な財源となります。ぜひとも活動の趣旨に賛同いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

#### 社協会費の種類

一般会員	一世帯	3,000円
賛助会員	一口	1,000円
法人会員	一口	3,000円



### ヤマガラの「がっちゃん」クイズ みんなあ福祉について考えてみよう！



深刻な影響が心配される日本の社会問題である2025年問題とは何でしょうか？

- ① 物価が上昇しインフレが急速に進む恐れのある現象
- ② 国内の75歳以上高齢者が急増する超高齢社会における社会問題
- ③ 国内の現役の医療関係者の数が急速に減少するという社会問題

※ 正解は次のページの下にあります。

### 使用済み切手の寄付のご紹介

皆さまのまごころに対し厚くお礼申し上げます

- 和田幸子 塩見奈奈子 塩田忠男 森木真理
- 上田幸子 岡林彦 野村眞智子 山下征恵
- 森下香 認定こども園ごほく 天王友輪会
- 街大栄工務店 伊野小売酒販組合
- 上八川若がえる教室
- いの町役場（総務課・町民課・本川総合支所）
- いの町本川漁業協同組合
- 本川中学校 長沢小学校
- 本川地区民生委員児童委員協議会
- 吾北地区民生委員児童委員協議会

（順不同・敬称略）

（令和6年9月1日～令和6年11月30日）

### 寄付のお礼



社会福祉のためにご寄付をいただきました。

- 伊野イレクターズ 様
  - 塩田忠男 様
  - 昭和三十二年度三瀬中学校卒業生同窓会 様
- 右記の方々以外にも多数の匿名の皆さまにご寄付いただきました。  
厚くお礼申し上げます。

（令和6年9月1日～令和6年11月30日）

### なんでも相談『あのね』の窓口

「あのねー」と、社協職員にご相談ください。お金のこと、生活のこと、ご家族のこと、どこに相談したら良いか分からないことなど、なんでもお気軽にご相談ください。

相談の秘密は固く守ります。

日時 平日 午前9時～午後5時  
場所 いの町社会福祉協議会

電話での相談も受け付けます。

- 本 所 ☎0888(892) 0515
- 吾北支所 ☎0888(867) 2820
- 本川支所 ☎0888(869) 2071



### フードバンクへのご協力 ありがとうございました

ハートホーム袖様  
清雲寺様



右記の方々以外にも多数の匿名の皆さまにご寄付いただきました。また、社協のフードバンクボックスにも多くのご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

（順不同）

（令和6年9月1日～令和6年11月30日）

# いの町社会福祉協議会 福祉教育の取り組み

いの町社会福祉協議会は、未来を担う方々への福祉教育を進めていきます。

## 吾北小学校 高齢者疑似体験学習

10月4日（金）吾北小学校の人権参観日にて5・6年生と保護者、教職員を対象に高齢者疑似体験（うらしま太郎）を行いました。

当日は2人1組に分かれて高齢者の疑似体験ができる装具を着けて、道路標識等を見る・階段を上り下りする・財布からお金を出すという体験をしました。

体験後、児童からは「おばあちゃんの気持ちが分かった。これからは色々手伝ってあげたい」と相手を思いやる感想がありました。また保護者や教職員からは、「疑似体験は初めてで、とても勉強になりました」「これからも続けていきたいです」との声が聞かれました。



## 本川中学校3年生 高齢者疑似体験学習

10月8日（火）本川中学校体育館で「高齢者疑似体験」「車いす体験」「白杖・アイマスク体験」を行いました。

体験前に事前学習の時間を使って高齢者や障害者に対するイメージと生徒各自の体験のテーマを決めました。体験では「体がすごく動きにくかった」「声かけがとても大事だと思った」などの感想がありました。



## 福祉体験学習

10月16日（水）17日（木）の2日にわたり、デイサービスセンター「朝霧荘」で福祉体験学習を行いました。前週に高齢者疑似体験学習を行っていた経験を活かした工夫や配慮がみられ、生徒考案のレクリエーションなど利用者と一緒に楽しい時間を過ごしていました。

生徒からは、「レクを楽しんでもらえてこちらも嬉しくなった」「施設は安全面や衛生面を重視していることがわかった」など、職員の仕事のお手伝いを通して高齢者施設や地域の実情を学ぶ貴重な体験となりました。